

サケさん、いつてらっしゃい

町と織笠漁業協同組合(山崎祐一組合長)では4月14日、さけ稚魚放流会を行いました。会場の織笠川河川敷には織笠保育園の園児と織笠小学校、轟木小学校の児童ら25人が参加。子供たちはバケツに入ったサケの稚魚に「元気で帰ってきてね」と声を掛けながら約10万匹の稚魚を放流しました。

やまぐさ
広報

5月1日号 2006

No
866

今号の主な内容

平成18年町消防練習
大沢小が日教弘教育賞で最優秀賞
みんなのスペース
やまだの歴史人物誌47
町のわだい

2~3
4
6~7
8
9

CONTENTS

あなたの家は
大丈夫ですか？



地震で倒壊した家屋

木造住宅の耐震診断を支援

町では、地震への備えとして、建築してから一定の期間を過ぎた民間木造住宅を対象に「耐震診断事業」を実施します。耐震診断を希望する町民の皆さんの住宅を、県認定の診断士が調査し、耐震性能を総合的に評価し

ます。どうぞ活用ください。
▼対象住宅 次の二つの条件をすべて満たす住宅
①昭和五十六年五月三十一日以前に着手された一戸建てで、平屋または二階建ての住宅
②過去に耐震診断を受けていな

い住宅
▼診断費用 個人負担三千円（町が二万七千円を負担）
▼募集戸数 十戸（定数になり次第締め切ります）
▼申込期間 六月一日～七月三十一日
▼申込先・問い合わせ 役場地域整備課建築住宅担当（☎82-3111内線254）へ。



織笠漁協婦人防火クラブによる初期消火訓練（写真上）／荒川婦人防火クラブによる小隊訓練



わたしたちも
頑張りました

◆表彰された皆さん

※カッコ内は分団名など

消防庁長官表彰 ▶永年勤続功労章 瀬川由雄（団本部副分団長）
県知事表彰 ▶功績章 野田賢一（3）、阿部悟（6）、荻谷茂（8）
日本消防協会会長表彰 ▶精績章 内館秋雄（6分団長） ▶勤続章 昆定夫（4分団長）、内館秋雄（6分団長）、五十嵐隆富（7分団長）、川村良治（11分団長）、荻谷茂（8分団長） 県消防協会総裁表彰 ▶功労章 野田義昭（3分団長） ▶功績章 大石秀男（10分団長）、佐藤充（12分団長）、佐々木基之（13分団長） ▶優良婦人消防協力隊員 斎藤ひろ子（山田町婦人防火クラブ連合会副会長） ▶内助功労者 川村千賀子（豊間根） 町長表彰 ▶功労章 佐藤悦男（8分団長）、佐藤光信（9分団長） ▶勤続章 前川長榮（7）、白野正（8）、佐々木毅彦（9） ▶功績章 平澤英樹（3）、昆裕樹（4）、佐々木和哉（4）、阿部信彦（6）、福土信行（7）、貫洞勇（7）、佐々木宣男（7）、阿部達也（7）、野田博明（7）、長瀬新吾（8）、武藤庄一郎（8）、佐藤哲也（9）、芳賀善一（11）、芳賀忠幸（13）、田向芳男（13）、佐々木幸博（13） ▶感謝状（内助功労者） 芳賀トキエ（本部分団長夫人）、千葉玉乃（5分団長夫人）、五十嵐工ツ子（7分団長夫人）、川村千賀子（11分団長夫人） 県消防協会宮古地区支部長表彰 ▶精錬証 黒沢真臣（2）、蛭名勝正（2）、長根宏（2）、佐々木茂之（2）、阿部孝徳（3）、福土善幸（4）、佐藤清悦（9）、米澤司（9）、中村敏彦（10）、箱石進一（10）、鈴木達也（10）、豊間根啓一（11）、濱長剛（12）、芳賀幸宏（12） ▶勤続証 佐々木力男（1）、佐々木宏和（2）、村木幸司（4）、中村隆一（9）、外館栄治（11）、伊藤勇（12） 町消防団長表彰 ▶精績章 佐々木堅一（6）、横田龍寿（6）、道又城（10）、鈴木敦（10）、豊間根尚文（12） 宮古地区幼少年婦人防火委員会会長表彰 ▶優良婦人防火クラブ員 昆野昭子（織笠婦人防火クラブ会長） 〈敬称略〉

織笠河川公園で行われた放水訓練



平成18年町消防演習

火消しの心意気勇ましく

精鋭281人が訓練の成果を披露

町消防団（佐々木俊夫団長・団員三百五十二人）の消防演習が四月二十三日、山田南小学校を主会場に行われ、団員ら二百八十一人が参加しました。
佐々木団長は「団員一人一人の努力が地域住民の安心・安全につながっています。最後まで気合と熱を込めて、日ごろの訓練の成果を存分に披露してもら



織笠地区で行われた分列行進



澤田潤一さんが力強く宣誓を読み上げました

いたい」と訓示。統監の沼崎喜一町長は「複雑多様化する災害の中で、消防団が果たす役割は一段と重要性を増しています。団員の皆さんは町民の生命財産を守るという使命感を心に刻み、一層の努力を重ねてほしい」とあいさつしました。
団員の各種表彰が行われた後、入・退団者の辞令交付式が行われました。今年は女性一人を含む十三人が入団。入団者を代表して第十二分団の澤田潤一さん（豊間根・二歳）が力強く宣誓を読み上げると、会場は凜とした雰囲気になりました。
その後、小・中隊訓練や消防

操法（水出し操法）を展開。今回は荒川婦人防火クラブや大浦漁協婦人部消防協力隊による小隊訓練も行われ、小隊長の号令に合わせて、きびきびとした動作を見せていました。山田幼稚園の幼年消防クラブは防火を呼び掛けるかわいらしい遊戯で、演習に花を添えました。
織笠地区では分列行進が行われ、統制の取れた陣容を披露。続いて織笠河川公園で行われた放水訓練には大勢の観衆が詰め掛け、空高く上がる見事な水の柱に歓声を上げていました。



幼年消防クラブによる遊戯

第11回日教弘教育賞

演劇を通して郷土愛をはぐくむ成果を論文に

大沢小が最優秀賞を受賞



賞状を手に喜びの渡邊真龍校長

大沢小学校（渡邊真龍校長・児童百六十八人）が、平成十七年度第十一回日教弘教育賞（財団法人日本教育公務員弘済会主催）の学校部門で最優秀賞を受賞しました。

日教弘教育賞は、教職員の教育実践と研究意欲に対する奨励を目的に行われており、平成十七年度は「学校の実態を踏まえ、明日の教育を考える」が研究主題。同校が発表した論文は「地域の教

育力を生かして育む『郷土愛』で、長年にわたり上演している地元の海を題材にした全校表現劇「海よ光れ」について、本番までに積み重ねる体験学習を通じて、児童が郷土愛をはぐくんでいく成果をまとめました。

最終審査には、全国から県の地方審査を通過した学校部門五十一、個人部門三十一の合わせて八十二編が寄せられ、同校の論文は地域に根ざした実践研究



学習発表会で全校表現劇「海よ光れ」を演じる児童＝昨年10月＝

が高く評価されました。「海よ光れ」は昭和六十八年十月の初演以来、十八年連続二十三回の上演を数え、昨年は十月に学習発表会で披露。平成十一年にはNHKホールを会場に開かれた全国漁港大会で上演した実績があります。

劇はトロール船の底引き網で海底が荒らされ、魚が捕れなくなった現在を嘆き、人間の知恵と力で海を守り育てることを訴える内容。児童は地域住民の協力を得て、カキ養殖やするめ作りなどの体験を積み、大沢地区の歴史や漁業に理解を深め、本番の演技につなげています。

県内で最優秀賞を受賞したのは平成十一年度の盛岡市の北松園中に次いで二校目。表彰式は、三月二十八日に東京都の第一ホテル両国で行われました。

受賞について渡邊校長は「とても驚いています。懸命に練習に励み、これまで上演を成功させてきた児童はもちろん、カキ養殖やするめ作りの体験学習に協力してくださった地域の方々のおかげです。今年、大沢小学校は創立百三十周年を迎えることともあり、受賞は今後の大きな弾みにもなります」と笑顔で話していました。

叙位

故濱村半藏さんに従五位



故濱村半藏さん

元山田小学校長で勲五等双光旭日章を受けている故濱村半藏さん（長崎・九歳）に、叙位として従五位が贈られました。

濱村さんは、昭和六年に岩手県師範学校を卒業。同年、宮古小学校の教諭となり、二十三年に豊間根中学校長に就任。河南、織笠の各中学校の校長などを歴任し、四十六年に山田小学校長を最後に退職しました。

退職後は、中央公民館長、町芸術文化協会長、山田ユネスコ協会長などを務め、各分野でも活躍。五十三年から平成元年までは町教育委員会委員長を務め、学校教育の充実、学力向上などに尽力されました。

濱村さんは三月五日に亡くなられました。ここに生前の功績をたたえ、ご冥福をお祈り致します。

人権擁護委員に吉田^{さん}を再任

船越の吉田徳右エ門^{さん}が、この三年間で、

人権擁護委員は、わたしたちの基本的な人権が侵されないよう監視し、万が一侵害されたときは、救済のため適切な処置を取ることを任務としています。



吉田徳右エ門^{さん}

本町には、吉田^{さん}のほか

四人が人権擁護委員に委嘱されています。皆さんが困っている家庭内や近隣関係などの問題をはじめ、土地や交通事故などに関する相談にも応じています。お気軽にご相談ください。

◆本町の人権擁護委員(敬称略)

▽吉田徳右エ門(☎84-2549)▽港安子(☎84-2269)▽田代省平(☎82-2584)▽内田真由美(☎86-3292)▽湊多喜郎(☎82-5865)

県の青少年育成委員に木村^{さん}と川石^{さん}を任命



木村良一^{さん}



川石睦^{さん}

県青少年育成委員に木村良一^{さん}(豊根^{・五})と川石睦^{さん}(山田^{・四})が任命されました。任期は四月一日から二年間です。同委員は青少年団体の活動促進や指導者養

成のほか、青少年の非行防止対策など、青少年の健全育成活動が主な任務になります。なお、これまで同委員は各市町村に一人ずつ委嘱されてきましたが、地域できめ細かな活動を展開していくため、中学校学区ごとに一人配置することになりました。

山田町要保護児童対策地域協議会を設置



相談に応じる児童専門員

虐待から子供を守るために

町では、児童虐待などを防止するため、山田町要保護児童対策地域協議会を設置しました。

協議会は▼町▼宮古児童相談所▼町民生児童委員協議会▼宮古保健所▼町教育委員会▼山田交番——などの十二関係機関・団体で構成。相互に連携し合い、虐待の未然防止、早期発見、保護に取り組んでいきます。

は解決できません。地域全体で虐待を防ぐ取り組みが大切であり、子供やその家庭と同じ地域に暮らす一人一人の協力が必要です。虐待が起こりそうな家庭の兆候や、虐待を受けている子供からのSOSに周囲の人が気づき、それを相談・通告することが虐待から子供を救い、その親を救うことにつながります。少しでも虐待(暴力、放任、性的・心理的虐待など)を疑うようなことが身近でありましたら、迷わず下記へ相談・通告してください。相談者の秘密は固く守られます。

児童虐待などに関する相談窓口
役場保健福祉課児童福祉担当

☎82-3111(内線131) Fax82-4989

潮干狩りを楽しもう



昨年のアサリまつり

平成18年

5月13日～6月15日

町内五つの漁業協同組合で組織する共有一共第111号第一種共同漁業権連合管理委員会では、条件付きで山田湾内のアサリ漁を一般に開放することになりました。

山田湾全域にはアサリ資源の繁殖保護を目的に「アサリ漁業権」が設定されており、漁業者（組合員）以外の方はアサリを採取することができませんが、一般の皆さんに春の風物詩を堪能してもらおうと、期間や殻長制限などを定めて開放を決定したものです。

次の条件を順守し、潮干狩りをお楽しみください。

- ◆期間 平成18年5月13日～平成18年6月15日
- ◆時間 日の出から日没まで
- ◆使用漁具 くま手、しゃくし
- ◆殻長制限 殻長2センチ以下のアサリは採取できません。
- ◆問い合わせ 共有一共第111号第一種共同漁業権連合管理委員会（船越湾漁業協同組合内 ☎84-2121）へどうぞ。

山田湾のアサリ漁を一般開放

イラスト



みんなのスペース



ふくだて そうた くん
（さくら幼稚園・5歳）

ぼくのゆめ

大きくなったらワンピースの
ゾロみたいに強くなって、悪い
人をやっつけてやるんだ。

投書

どんなことでも結構です。
どしどしお寄せください。

断ち切れない交通事故

私たち交通安全活動に関係する諸団体は、何とかして交通事故死事故だけは、町交通安全対策運動協議会、山田交番、町交通安全母の会を含めて活動を推進し、春の交通安全運動の期間中も事故なく終了した矢先の四月十八日、織笠地区で死亡事故が発生しました。三月二日のブナ峠での死亡事故に続いての事故であり、これ以上は絶対に防止しなければと宮古地区交通安全協会山田支会を中心に運動を展開しているところです。

災いは忘れたころにやってくる。忘れない中で発生するのはなぜでしょう。生命は地球よりも重く、大海原よりも広いものであることを深く認識し、これ以上町内から、そして町民からあの悲惨で家族をも不幸にする交通事故死事故を絶対に防止しなければなりません。このことを運転者の皆さんで誓い合い、今後もシートベルトを締め、車間距離をとり、交通ルールを守って安全運転を心掛けましょう。

西館隆（船越・？歳）

古里への便り⑫



ふる里山田同郷の会幹事
東京都小金井市
船越 守治さん (76歳)
〔船越出身〕

数え年十四歳、笈を負うて郷関を出、その後勤め人になって札幌、仙台、金沢など八カ所ほど転住しましたが、いつも山田への熱い望郷の念を抱きながら過ごしてきました。特に小学校のころの思い出は脳裏に去来します。

学校帰り、荒神社を見渡せる前須賀で、田の浜の同級生たちと取っ組み合いのけんか（実態は相撲のようなもの）をしました。七十年近くを過ぎててもこのとき引つかかれた傷跡は消えません。そんな中で山崎文悟君はとてもかなわない手ごわい相手でした。それでも先の大戦が勃発したときには、仲良く真剣なまなざしで必勝祈願の参詣をしました。

「故郷は遠くにあつて想うもの」とか。「山田よいとこ好きな町」。この次、もしこの世に生まれて来るとしたら、私はやはりこの町山田がいい。この町がある限り。

戦後の復興期に都会に出て、この国のために懸命になって働いてくださった方々、今話題の「団塊世代」。他国で広報やまだ

山田よいとこ好きな町(三)

「如何にいます父母 慈なしや友がき 雨に風につけても 思い出ずる故郷」

一、夕空はれて秋風ふき 月影おちてスズ虫なく 想えばいと故郷の空

二、澄みゆく水に秋ハギ垂れ 玉なす露はススキに満つ 想えばいと故郷の野辺

ああ我がはらから誰と遊ぶではまた次号でお会いしましょう。

ペンネーム・山田北州
（山田・85歳）

無人駅寂しく 昔の面影思い浮かべ なつかしく

山崎泰司（船越・60歳）
眼裏に咲かせ杖つく花の道 菊地孝進（船越・84歳）
少子化で二万人割るか おらが町

佐藤兼男（荒川・79歳）
登校を見送る母に幾たびもしきり手を振る入学児見る 齋藤忠雄（船越・80歳）
君が孤独を感じるのには 自分の悩みは誰も

わかってくれないって思ったり 本音を言える人がいなかったり 偽りの自分であるコトが多かったり

苦しい時も 誰にも言えなかったり 部屋の中で一人で泣いたり： そういうコトが積み重なって 君はいつも一人になって 孤独を感じてしまふのかな：

本当は世の中には 自分に似てる人なんて たくさんいるはずなんだけど そういう人に出会えないと 本当に辛くて苦しくて：

ただどね君も出会えるから きつときつともうすぐだから そう信じて生きてゆこう

ペンネーム・風の踊り子
（長崎・21歳）

このコーナーでは、町にゆかりのある歴史人物とその結び付きなどをシリーズで紹介しています。執筆者は町史編さん委員の佐藤仁志さん（豊間根・七）です。

岩手県沿岸に東京湾汽船（株）の汽船が就航していたが、経営の主体が県外の所管で制約もあり、不便であった。

明治三十九年、気仙銀行建築のため同銀行重役および株主などが高田町に集合した際、三陸汽船のことが提議され賛成を得た。早速、銀行重役、株主が郡内外の



山田湾に停泊する三陸汽船
（写真提供：山田町教育委員会）

三陸汽船（株）の創設と

横山久太郎

助商業、貫洞幸七（商業、町議会議員）の名前が出ている。

明治四十年八月、三陸汽船（株）設立発起人総会で役員が決定、取締役社長に横山久太郎（五十一歳、静岡県出身で製鉄所初代所長、釜石電灯、岩手軽便鉄道社長を歴任）。常務取締役に北田親氏盛岡市長（四十九歳、盛岡市出身、警察署長、県勸業

手県知事を訪ね賛同を得た。明治四十年、笠井信一岩手県知事に提出された補助申請書には発起人代表として横山久太郎釜石山田中製鉄所長以下五十三人の名前が記され、気仙郡三十六人、九戸郡三人、上閉伊郡六人、下閉伊郡八人で、宮古町から中島新太郎、菊池長右衛門、菊池和七、横坂権七。山田町から中野健次郎町長、萬藤九郎（商業）、上野六之

課長、下閉伊郡長を歴任）。取締役の一人に中野健次郎山田町長（五十五歳、飯岡村出身、郡役所や山田村役所書役、戸長、村議会議員などを歴任）。監査役の一人に山田町の萬藤九郎（商業）が選ばれた。

会社は資本金三十万円で地元資本が九〇％を占めた。かくて明治四十一年四月、三陸汽船（株）が創立した。木造貨客船の東北丸・振興丸・黄金丸・笠井丸（いずれも一四五ト）を建造し

沿岸航路、東京航路、北海道航路と発展した。明治四十四年、東京湾汽船（株）は権利を三陸汽船（株）に譲渡し姿を消した。

沿岸航路の寄港地は宮古―山田―大槌―釜石―小白浜―越喜来―大船渡―細浦―高田―気仙沼―鮎川―塩釜で毎日一往復。大正二年の乗客数は宮古四千六百二十六人、山田三千四百三十一人、大槌二千七百五十二人、釜石九千四百四人、塩釜一万五千百一人（七港省略）で、全体で五万四千七百三十九人である。三陸汽船は多くの人、物資を輸送し、産業、経済、文化の発展に大きな役割を果たした。

町長室から

「事実は小説よりも奇なり」といわれますが、戦時死亡宣告を受けた洋野町出身の上野さんが六十三年ぶりに一時帰国したニュースで、まさにその言葉を思い起こしました。これまでの年月、どのようなドラマがあったのでしょうか。報道によれば上野さんは「日本の桜が見たかった」と語ったとか▼桜といえば本コラムでも時々桜の話題を載せていますが、それによれば、平成十四年は「役場前の桜が、四月十七日の強風でほとんど散った」、平成十六年は「四月十八日の消防演習のころが満開」となっています。今年の開花がいかに遅れたかが分かります。広報が配布されるころ、桜はまだ咲いているかもしれませぬね▼五月十四日上映予定の映画「待合室」にも美しい桜のシーンが出てきます。岩手を舞台にした素晴らしい映画ですので、一人でも多くのご鑑賞をお薦めいたします。

山田町長 沼崎喜一



今月の題字
福士希美ちゃん
(大沢小3年)

町のわたし

公用車に青色回転灯を装備 防犯効果に期待込め出発式

夜間パトロールなど防犯活動の際に使う公用車に青色回転灯が装備され、4月24日、役場駐車場で出発式が行われました。防犯効果を高めようと町が東北運輸局の認定を受けて装備したもので、式には関係者約30人が出席。中村善次町防犯協会長と宮古警察署の中村弘和生活安全課長、五十嵐秀一町住民生活課長によるテープカットに続き、篠澤政夫町防犯隊長が出発宣言を行い、青い光を点灯させた車両が出発していきました。青色回転灯を装備した車両は宮古管内では本町が第1号となります。



第28回全国海の子絵画展 本町の児童生徒3人が入賞

第28回全国海の子絵画展(全漁連主催)で本町の児童生徒3人が入賞しました。表彰式は3月28日、東京都で行われ、特別賞に輝いた2人が出席。表彰状と記念品を受け取りました。同展には全国の約1,200校から小学生の部約24,000点、中学校の部約3,400点の応募がありました。

◆特別賞 ▷水産庁長官賞 佐々木ひとみ(大沢小6年・現山田中1年)=写真右= ▷NHK会長賞 長澤和也(山田南小2年・現3年)=写真中= ◆全漁連会長賞 福士優海(山田中2年・現3年) 《敬称略》

第61回盛岡市内一周継走大会 山田中男子が準優勝に輝く

第61回盛岡市内一周継走大会の中学校男子の部で、山田中が1時間5分54秒の好タイムで準優勝に輝きました。大会は4月16日、県営運動公園陸上競技場を発着点とする一周3.8kmの周回コースで行われ、同部には125チームが出場。1走から上位につけて徐々に順位を上げた山田中は、最終の5走に2位でたすきをつなぎ、そのままゴール。秋の県中学校駅伝大会のシード権を獲得しました。

◆出場選手 左から佐々木悠(3年)、佐賀達徳(同)、佐々木豊志(同)、斉藤翔太(2年)、佐藤連(3年) 《敬称略》





まちで出会ったかわいい笑顔

おしらせ

INFORMATION

山田町役場 ☎82-3111

町のホームページアドレス <http://www.town.yamada.iwate.jp/>

広報クイズ 227

三つの中から正しいものを選んで、応募してね。

- ① 4月14日にさけ稚魚放流会を行った会場はどこの河川敷？
④北上川
③織笠川
②ナイル川
- ② 平成17年度日教弘教育賞で大沢小学校が最優秀賞を受賞した論文で取り上げた、全校表現劇のタイトルは？
④「森よ光れ」
③「川よ光れ」
②「海よ光れ」
- ③ 4月24日に町公用車に装備された、防犯活動の際に使用する回転灯は何色？
④赤 ③黄 ②青
- ④ 今号の「一歳になりました」に登場している赤ちゃん8人のうち、女の子は何人？
④3人 ③4人 ②5人

【応募方法】 はがきに①クイズの答え②住所③氏名④年齢を明記の上、応募ください。
【応募先】 〒028-1392（住所記載不要）山田町役場広報クイズ係
【締め切り】 5月19日（当日消印有効）
☆前回の正解は①-C、②-A、③-A、④-Bでした。応募者数42通で全員正解、抽選の結果次の10人が当せんしました。
山田＝巖田大樹（6） 八幡町＝佐々木幸来（1） 長崎＝堀合和代（50）、小林ゆめか（2） 飯岡＝佐々木順子（43）、館本昭子（32） 大浦＝横田和（11） 織笠＝寺西美波（11） 大沢＝福士成佳（？） 荒川＝芳賀勉（？）
〈敬称略〉

県職員と警察官採用試験を実施

県職員、警察官の採用試験が行われます。

県職員（Ⅰ種）

▷職種 一般行政、社会福祉、農学、畜産、林学、水産、総合土木、建築、機械

▷受験資格 ①昭和52年4月2日～60年4月1日までに生まれた人（学歴は問いません）
②昭和60年4月2日以降に生まれた人で、大学を卒業または見込みの人

▷試験日 6月25日（日）

▷試験地 県立大学（滝沢村）

▷試験内容 大学卒業程度の教養試験、専門試験、論文試験
▷申込書の請求先 宮古地方振興局企画総務部（☎64-2211）

警察官 A（男性、女性）

▷受験資格 昭和52年4月2日以降に生まれた人で、大学を卒業または見込みの人

▷試験日 7月9日（日）

▷試験地 岩手大学（盛岡市）

▷試験内容 大学卒業程度の教養試験、作文試験

▷申込書の請求先 宮古警察署 山田交番（☎82-2155）

※平成18年度から県職員や警察官の採用試験申込書の請求や試験の申し込みが、インターネットでもできるようになりました。詳しくは県職員募集案内ホームページ（<http://www.pref.iwate.jp/~hp0741/>）をご覧ください。

◆受付期限 5月31日（インターネットによる申し込みは25日まで）

◆申込先・問い合わせ 県人事委員会事務局（☎019-629-6241）へどうぞ。

5月の町長面談日

▷日時 5月17日（水）
午前10時～正午

▷場所 役場4階特別応接室
※面談希望の人は役場総務課内線413へご連絡ください。

町で臨時職員を一般公募します

町では、臨時職員を募集します。

▷募集人数 1人

▷勤務場所 役場保健福祉課

▷応募資格 町内に住所があり、看護師の資格を持っている人

▷業務内容 健康診断の問診、介護予防教室の補助など

▷賃金 日額7,300円

▷任用期間 6月1日～9月30日
※必要がある場合は最大8カ月まで期間が更新されます。

▷申込方法 役場住民生活課または役場各支所に備え付けの履歴書に必要事項を記入し、資格を証明する書類の写しを添えて、5月15日までに役場総務課に提出してください。
▷問い合わせ 役場保健福祉課 包括支援担当（内線170）へ。

日赤の社資を募集 皆様のご協力を

日本赤十字社では、6月2日まで「5月の赤十字運動月間」を展開します。今年も社資（募金）のお願いを行政区長を通じて行いますので、皆様のご協力をお願いします。
▷問い合わせ 日赤山田町分区分（役場保健福祉課内・内線132）へどうぞ。

6月16日まで有害鳥獣の駆除を実施

町では、カラスなど農林水産物に被害を与える有害鳥獣の駆除を実施します。水田や山に立ち入る際は十分ご注意ください。
▷期間 5月1日～6月16日
▷区域 山田町全域（鳥獣保護区や道路などの猟銃禁止区域を除きます）

▷実施団体 山田猟友会

▷実施方法 銃器による駆除

▷駆除対象 カラス、カルガモ、キジバト、ノネコ、ノイヌ

▷問い合わせ 役場住民生活課 環境衛生担当（内線127）へ。

12日まで町営住宅入居者募集します

町では、町営住宅の入居者を募集します。

▷募集団地 山田高校前2戸

▷家賃 22,000円～48,400円（共益費、駐車料金別）

▷入居資格 所得が一定以下の人で、現在住宅に困っている人（町税の滞納が無いことが条件になります）

※入居する際には、連帯保証人2人と敷金（家賃3カ月分）が必要です。

▷申込期間 5月8日～12日

▷申込先・問い合わせ 役場地域整備課建築住宅担当（内線251）へどうぞ。

鯨と海の科学館で写生会を行います

鯨と海の科学館では、第1回海の体験教室「海と鯨館の写生会」を開催します。

▷日時 5月14日（日）

午前9時～正午

▷内容 鯨館内外や海岸などの風景の写生

▷参加料 無料

▷対象 小学生以上40人

※小学3年生以下は保護者同伴とします。

▷持ち物 写生用具（画用紙は鯨館で用意します）

▷申込期限 5月10日

▷申込先・問い合わせ 鯨と海の科学館（☎84-3985）へ。

春の農作業安全運動展開中です

6月15日まで『「慣れた場所」『いつもの場所』も要注意 今日も初心で農作業』をスローガンに、県下一斉に農作業事故防止運動が展開されています。作業をするときは▶トラクターに安全フレームを装着▶基本動作の励行▶計画的作業と十分な休養・健康管理――を心掛け、春の農繁期の事故を防ぎましょう。

非常勤の少年補導職員を募集します

宮古警察署では、非常勤の少年補導職員を募集します。

▷募集人数 1人

▷勤務場所 宮古警察署

▷応募資格 4月1日現在で22歳から40歳ぐらいまでの人

▷選考方法 作文試験、面接

▷業務内容 街頭補導、少年相談など非行防止活動

▷報酬 月額127,400円程度

▷任用期間 任用した日から来年3月31日まで

▷申込方法 申込書に必要事項を記入し、履歴書と写真2枚を添えて宮古警察署に提出

▷申込期間 5月8日～22日

▷申込書の請求先・問い合わせ 宮古警察署警務課（☎64-0110）へどうぞ。

防衛庁で自衛隊の2等自衛官を募集

防衛庁では、自衛官2等陸・海・空士を募集します。

▷職種 自衛官2等陸・海・空士

▷応募資格 18歳～26歳の男子

▷試験日 6月11日（日）

▷申込先・問い合わせ 6月2日までに自衛隊宮古募集事務所（☎63-3881）へどうぞ。

B & Gバレー大会 皆様のご参加を

B & G町バレーボール大会が開催されます。

▷日時 5月23日、24日

午後6時50分～

▷場所 B & G海洋センター

▷対象 中学生以上の町民

▷内容 6人制バレーボール
▷チーム編成 混成の部（女性を2人以上含むこと）、女子の部それぞれ12チーム

▷参加料 1チーム2,000円

▷申込先・問い合わせ 5月16日までに町教育委員会事務局 社会体育担当（☎82-5505）へ。

看護の日記念講演 20日に宮古で開催

5月12日の看護の日にちなみ、「看護の日の記念講演」が開かれます。どうぞご参加ください。

▷日時 5月20日（土）

午後1時半～3時

▷場所 シートピアなど

▷内容 講演「夢に向かって一緒に走ろう」講師：大野寿子さん（メイク・ア・ウィツ シュオブジャパン事務局長）

▷問い合わせ 岩手県看護協会 宮古地区支部（県立山田病院内☎82-2111）へどうぞ。



町では、糖尿病予防教室を開講します。本年度は7回の開催を計画し、グループワークや実技などを通じて糖尿病への理解を深めます。血

糖値が高めの方も、現在糖尿病を治療中の方も一緒に勉強しませんか。
なお、途中からの受講もできますが、できるだけ一回目からご参加ください。
▽日程と場所 下表のとおり
▽時間 午後一時半～三時半
※第七回は午前十時～午後一時
▽申込期限 五月十五日
▽申込先・問い合わせ 役場保健福祉課健康づくり担当（内線165）へどうぞ。

◆糖尿病予防教室の開催日程（予定）

回	期 日	内 容
1	5月25日	「自分を知ることからはじめよう」（グループワーク） 場所：保健センター
2	6月16日	「自分で出来る消費カロリーチェック」（実技） 場所：保健センター
3	7月4日	「自分に合った食生活プログラムづくり」（グループワーク） 場所：保健センター
4	8月2日	「温水プールでアクアピクス」（実技） 場所：シートピアなど
5	9月4日	「わたしのストレス解消法」（グループワーク） 場所：保健センター
6	12月1日	「続けてみようわたしに合った生活プログラム」（グループワーク） 場所：保健センター
7	2月2日	「ヘルシーパーティー」（調理実習） 場所：町中央コミュニティセンター

胃腸病と肝・胆・腎検診を実施

◆検診の日程 〔5月〕

対象地区	期 日	会 場
山 田	16日～20日 23日～25日	保 健 セ ン タ ー
船 越	23日、24日	船 越 防 災 セ ン タ ー
田 の 浜	20日、22日	船 越 漁 村 セ ン タ ー
大 浦	25日、26日	大 浦 漁 村 セ ン タ ー
織 笠	16日、17日、27日	織 笠 漁 業 協 同 組 合
大 沢	18日、19日	ふ る さ と セ ン タ ー
豊 岡 根 荒 川	22日、26日、27日	豊岡根生活改善センター

※山田、豊岡根・荒川地区は肝・胆・腎検診を実施しません。

胃腸病と肝臓・胆のう・腎臓検診が、左表の日程で行われます。送付される通知書の日時と会場を確認し、忘れずに受診してください。まだ申し込みをしていない方でも受診できますので、希望する方は直接会場へお越しください。

◆受診料 胃腸病検診…1,500円 肝臓・胆のう・腎臓検診…1,300円（当日会場でいただきます）

◆受付時間 胃腸病検診…午前7時～8時半 肝臓・胆のう・腎臓検診…午前6時半～7時半

◆注意事項 ▶検診前日の夜8時から検診終了まで飲食物（アルコール類含む）を取らないでください▶検診前日の就寝時まで水、お茶は飲んでもかまいません▶普段服用している薬はお飲みください▶当日は検診終了までたばこは吸わないでください▶できるだけ朝は用便を済ませてからお越しください

◆問い合わせ 役場保健福祉課健康管理担当（内線161）へ。

糖尿病予防教室を開講

おめでた・おくやみ

3月届け出分（敬称略）

〔出生〕（ ）は保護者名と性別

▷山田 湊胡珀（謙一・女）、山屋結愛（善博・女）

▷船越 山崎主真（優貴・男）

▷織笠 沼田航明（誠司・男）、齋藤陽愛（哲也・女）、湊心優（隆千代・女）、小野寺希星（京太・女）

▷大沢 柏谷友貴（忠己・男）

▷荒川 芳賀莉ノ杏（幸広・女）

〔結婚した二人〕（ ）は住所

野田義光（大浦）・佐藤美花子（田の浜）

鈴木彰（釜石市）・内館明子（長崎）

佐藤康宏（飯岡）・池本美帆（飯岡）

佐藤淳（山田）・田代明日香（船越）

田代智巳（田の浜）・佐々木美穂（釜石市）

〔死亡〕（ ）は年齢

▷山田 濱村半蔵（94）、川村享平（93）、坂本質（79）、阿部りえ子（53）、上野テイ（77）、鈴木サタ（99）、上林憲一（66）

▷船越 稲川ソノ（86）、新保サメ（86）、大杉源造（84）

▷田の浜 昆野純吉（58）、山崎ミトリ（92）

▷織笠 沼崎福一（77）、坂本兵作（76）、川瀬三郎（83）、坂本忠（89）、鎌田孝典（76）

▷豊間根 深澤多喜（76）、佐々木精松（83）

▷荒川 芳賀健作（50）

町民のうごき

（3月1日～31日）

▷出生……12人 ▷転入……99人

▷死亡……26人 ▷転出……220人

▷人口…20,606人（今月減135人）

男…9,885人 女…10,721人

▷世帯数………7,249世帯



◆町内のあちらこちらで桜が咲き始め、春の訪れを感じさせてくれています。暖かい春の日差しの中、満開の桜の下でのんびりとした寝をしてみたいですね。寝るのは季節関係なく得意ですけど。◆限られたスペースに、いかに伝えたいことを要約して書くかが広報担当の腕の見せどころ。今回許された字数は九十文字。さて何を書くのか…。何も伝えられないままスペースが埋まってしまった。幸



佐々木春乃花
（船越・仁・女）



佐々木優花
（大沢・広行・女）



阿部桜花
（飯岡・雅大・女）



本間威風
（飯岡・なおと・男）



田代成琉
（船越・正樹・男）



竹内千嘉
（八幡町・伸一・男）

5月生まれ

赤ちゃん紹介
一歳になりました



※敬称略（ ）内は地区名、保護者、性別です。



柴田帆乃湖
（大浦・光晴・女）



関大斗
（豊間根・智一・男）

映画「待合室」山田町上映会

小さな駅の待合室に置かれた「命のノート」待合室を訪れる旅人たちが、いつしか心にある喜怒哀楽を書き綴るようになった。それは人々の、心の奥底からの言葉。その言葉に返事を書き続けている駅前商店のおばちゃん、和代が、今日もノートに励ましの言葉を書き続ける…

人のやさしさとは、人が生きるとは、そこに「命のノート」がある…

待合室
-Notebook of Life-

5月14日(日)

町中央公民館大ホール

◆入場券 大人…1,000円(当日1,500円) 小学生～高校生…800円(当日券のみ)

第1回…午前10時半～

第2回…午後1時～

第3回…午後3時半～

※入場券は県内共通となっていますので、ほかの上映会場でも利用できます。

山田BBS会では、一戸町の小繋駅を舞台にした映画「待合室」の山田町上映会を開催します。第2回と第3回上映時には、板倉真琴監督が舞台あいさつを行います。皆さんお誘い合わせの上、ご覧ください。なお、入場料の一部は町内の幼稚園・保育園（所）を対象にした「花いっぱい運動」資金として活用されます。

▷入場券取扱所 佐藤薬局（豊間根）、鈴円商店（山田店、大沢店）、町中央公民館、山田町商工会、一休松尾山田店、フローリストばば、靴のサイトウ、ピザ屋山田店、川石水産、岩手日報山田センター、丸萬石油、道の駅やまだ

▷問い合わせ 山田BBS会事務局（龍昌寺内 ☎090-4313-4206）へどうぞ。